

# 企業説明 学校で

## 花北 市内21社迎え情報交換会

【花巻】花巻市石鳥谷町の花北青雲高校(佐藤睦朗校長、生徒494人)は21日、2年生を対象に市内の事業所を招いて企業情報交換会を開いた。同校初の試みで、事業所側がパンフレットや



企業情報交換会で事業所側の説明に熱心に耳を傾ける生徒

製造品などを示して積極的に説明。生徒たちも就職活動や将来の進路に役立てようと真剣に耳を傾けた。

市内事業所に対する生徒の理解をより深め、今後控えている就職活動や進学後の進路決定につなげようと、県南広域振興局や事業所の支援を得て企画した。市内の就職希望の生徒が事業所側の説明を受ける機会はある

が、高校が単独で実施するのは珍しく、県南地方では同校が初めて。体育館で開かれた交流会には製造業を中心に市内の21事業所が参加。2年生166人が希望する事業所のテーブルを巡って説明を受けた。

各事業所の担当者は、パンフレットやPR動画、製造品、模型などを示しながら自社の概要や業務内容、職場環境などを分

かりやすく紹介。「社内研修で人材育成に努めている」「若手社員が多く明るい職場」「長期休暇を取得できる制度がある」などの特徴もアピールし、生徒たちはメモを取るなどしながら真剣な表情で説明に聞き入っていた。

開催を発案した佐藤校長は「地元企業の具体的な仕事内容や魅力を生徒は分からない。知ること、就職を目指す生徒だけでなく進学する生徒の将来の進路選択にも役立つはず。個人的には地元

で頑張りたいと考える卒業生が増えることを期待している」と意義を強調した。

同振興局産業振興課によると、管内の高校を卒業する生徒数は年間約4000人で、このうち就職者数は4分の1の約1000人。長期的に生徒数が減少する見通しの中、進学率は逆に上昇傾向にあるといい、同課は地元企業の人材確保にもつながる学校側のこうした取り組みを支援していく考え。同校も交換会を継続していく予定だ。

25日、芸能(北上)区芸能伝承後2時から地区交流される。12団神楽など郷に舞う。

県交対向車

21日午後、西和賀

## 耳で感じる親子の絆

### 子守唄コンサート 高校生も歌、読み聞かせ

【西和賀】第8回にしが、地元ボランティアの子守唄コンサート(NPO法人輝けいのちネットワークなど主催)は18日、西和賀町上野々の町文化創造館銀河ホールで開かれた。来場者

が、地元ボランティアの読み聞かせや高校生の合唱など趣向を凝らしたス

テーツを楽しんだ。子守唄などを通じて親子の絆や子育ての在り方を考える機会にしようとNPO法人日本子守唄協会(東京都)ととも

に企画。協会のほか、西和賀町立沢内小

【花巻】伝統的なひな人形を民家や商店などで展示公開する「おおはさま宿場の雛まつり」(実行委主催)は、23日から3月4日まで花巻市大迫

い顔立ちが特徴の次郎左衛門雛、現代のひな人形に系統が受け継がれる古今雛など、大迫に残る貴重なひな人形を鑑賞できる行事として定着し、21



子守唄コンサートで、高校生も歌、読み聞かせ



入っていた不來方高、高校日